



右のQRコードから労働組合のホームページへ。パスワードは『mrousook』です。

1631号/2022. 9. 19日発行
TEL/047-345-9180

発行人/砂川 佳信
FAX/047-345-9181

編集人/倉持 有介

作成者/落合 英之
e-mail/mkunion@cocoa.ocn.ne.jp

第45回定期中央大会

第5弾

審議される議案について

2022年10月14日(金)東京ベイ舞浜ホテルファーストリゾート

第45回定期中央大会にて代議員によって審議される議案についてお知らせ致します。掲載内容は抜粋となります。詳細については、後日店舗に配布する『2022年第45回定期中央大会 報告・議案書』をご確認下さい。

項目		内容
第1号議案	2023年度中央委員選出(案)	※立候補者については9月7日発行の組合ニュース1630号「立候補者が決定しました」をご参照下さい
第2号議案	2023年度中央執行委員選出(案)	
第3号議案	2023年度会計監査・選挙管理委員選出(案)	
第4号議案	2023年度支部長選出(案)	
第5号議案	組合規約改定(案)	1. 組織構成の変更
		2. 上部団体の変更
		3. 専門部の変更
第6号議案	2023年度活動計画(案)	1. 団体交渉及び労使協議会
		2. 安全衛生委員会
		3. SDGsの推進
		4. 全店舗オルグの実施
		5. 政治活動
		6. マツキヨココカラ&カンパニー健康保険組合
		7. 上部団体活動への参加
		8. マツキヨココカラ&カンパニー労働組合連合会への参画
第7号議案	2023年度会計予算(案)	予算、内訳
第8号議案	第20回統一地方選挙必勝決議(案)	

第5号議案（一部抜粋）

1. 組織構成の変更

現行：第4条（組織構成）

この組織は株式会社マツモトキヨシ、株式会社エムケイプランニング、株式会社マツモトキヨシファーマシーズ、マツモトキヨシグループ各社出向従業員の正規社員、エキスパートクルー、社会保険加入サービスクルー、雇用保険加入サービスクルー、学生を除くサービスクルー、65歳までの継続雇用者で組織する。

改定：第4条（組織構成）

この組織は株式会社マツモトキヨシ、マツモトキヨシグループ各社出向従業員の正規社員、エキスパートクルー、社会保険加入サービスクルー、雇用保険加入サービスクルー、学生を除くサービスクルー、65歳までの継続雇用者で組織する。

2. 上部団体の変更

現行：第6条（上部団体）

1. この組合はUAゼンセンに加盟し、マツモトキヨシグループ労働組合連合会の下グループの一体化を図る。
2. マツモトキヨシグループ労働組合連合会の細則は別に定める。

改定：第6条（上部団体）

1. この組合はUAゼンセンに加盟し、マツキヨココカラ&カンパニー労働組合連合会の下グループの一体化を図る。
2. マツキヨココカラ&カンパニー労働組合連合会の細則は別に定める。

3. 専門部の変更

現行：第9条（専門部）

前条の事業を遂行するために中央執行委員会のもとに次の専門部会を置き、事務局が統轄することができる

1. 広報部
2. 文化部
3. 組織部
4. 教育部
5. 調査部
6. 男女共同参画推進委員会
7. 事務局
8. 財務局
9. 生産性向上委員会
10. UAゼンセン活動参画委員会
11. 労働組合連合会

改定：第9条（専門部）

前条の事業を遂行するために中央執行委員会のもとに次の専門部会を置き、事務局が統轄することができる

1. 広報部
2. 組織・調査部
3. 教育部
4. 男女共同参画委員会
5. 事務局
6. 財務局
7. 生産性向上委員会
8. 労働組合連合会

2023年度活動計画（案）

- ・労働条件の維持・向上と従業員エンゲージメントの向上に関して、誠意を持って迅速かつ円滑に協議を進めます。
- ・安全衛生委員会にて、職場の環境について話し合い、調査審議した結果を「組合ニュース」で報告いたします。
- ・SDGs研修を開催します。子ども食堂支援を引き続き行い、支部長にも協力の要請をします。
- ・期中(2年)に全店舗訪問を行い、店舗の課題や問題点を把握し、問題解決に向け会社と協議してまいります。
- ・組合員の政治意識を高める活動を推進します。
- ・人材育成を目的とし、上部団体活動に対して、中央執行委員だけでなく支部長も参加します。
- ・マツモトキヨシ労働組合の更なる発展を目的とし、労働組合連合会と緊密な関係を築きます。

第7号議案（要約）**2023年度会計予算（案）**

- ・支部組織強化に伴う予算計上。（内部活動費）
- ・ITの充実、デジタル化促進に向けた予算を計上。（予備費）
- ・ホームページ開設による機関誌エスプリの発行部数変更、組合員アンケートをGoogleフォームでの実施予定による費用の削減。（内部活動費、広報部費）

第8号議案**第20回統一地方選挙必勝決議(案)**

先に執り行われた第26回参議院選挙は、コロナ対策に加えてロシアによるウクライナ侵攻や長引く円安等が招いた深刻なインフレに対する経済政策や外交・安全保障への対策が中心的な争点となった。

結果は、与党が大勝し自民党と公明党が非改選を含めて過半数となる76議席を獲得した。

国民民主党においては、改選7議席に対して5議席の獲得にとどまった。比例代表選においては、2021年10月に行われた衆議院選挙時の259万票を超える316万票を獲得し何とか3議席を獲得することができた。

私たちUAゼンセンの組織内議員「川合 孝典」は、国民民主党比例代表候補9名中、第3位で再選を果たすことができたが、目標としていた30万票には及ばず、211,783票と極めて厳しい結果となった。

UAゼンセンの運動の目的は、働く者や生活者が優先される社会の実現にある。その目的達成のための取り組みの一つが政治活動である。

雇用・労働、税制、社会保障、環境、平和、安全保障等々我々を取り巻く様々な課題は、国政のみならず、地方においても山積しており、課題解決に向けUAゼンセンは、国や地方の政治と連携して取り組んでいかなければならない。マツモトキヨシ労働組合活動の目的は組合員の幸せであり、政治活動は最優先で取り組む必要がある。すなわち上部団体であるUAゼンセンが掲げる政策には積極的に参画しなくてはならない。

2023年4月には、第20回統一地方選挙が行われる。UAゼンセンは各都道府県からそれぞれの選挙に組織内・準組織内候補者を擁立して闘う。今回の地方選挙は、地域に根ざした政策の実現のみならず、地方から国の政治を変えていく起点となる重要な闘いとなる。

私たち勤労者・生活者の立場に立って活動する仲間の議員を増やすことが、山積する課題の解決を図り、「わたしたちが安心して暮らすことのできる社会の実現」につながることを確信し、マツモトキヨシ労働組合は、UAゼンセンの推薦する候補者全員 の必勝に向けて組織の総力を挙げて闘い抜こう。

以上、決議する

2022年10月14日
UAゼンセン マツモトキヨシ労働組合
第45回定期中央大会